

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 13 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '公園管理事業' and '住環境の整備と景観の形成'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 main columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about park management and maintenance.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 3 main sections: ①手段 (担当者活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか). Includes metrics like '維持管理済み面積' and '桜川市の人口'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing financial and personnel data for 27, 28, 29, 30, and 31 fiscal years. Includes rows for '国庫支出金', '事業費計(A)', and '人件費'.

Table comparing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円). Lists items like '11 需用費', '12 役務費', '13 委託料', etc.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 29, 30, and 31 fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	公園管理事業	事務事業No.	40501000770	所属課	都市整備課
-------	--------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 地元高齢者や子供たちが多く利用している公園で、町村合併により公園緑地係ができたことに伴い管理運営事業を開始した。公園内樹木、寄せ植え等の剪定、除草や清掃、花壇の整備等を行い、公衆トイレも週3回の清掃委託も実施しているため事業開始以前より安全で快適に利用できる公園となった。 老朽化及び震災により安全性を確保できなくなった公園施設・遊具に対して、施設の長寿命化を図るため修繕事業を行う。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 遊具を充実させ保守点検を実施して安全に利用できるように施設の維持管理をしてほしいとの要望がある。 施設の長寿命化を図るための大規模修繕事業は、財政面の視点からも国庫補助事業を利用するよう要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 高齢者や子供たちなどの桜川市民が安全で快適に公園を利用し憩いの場となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 不特定多数の市民が利用しているので、市で管理するのが妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない 市民が安心して利用できるように管理しており、向上の余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 市民の憩いの場としての利用目的であるため、管理を続ける必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒ 具体的な手段、事務事業名 余地がない 類似する事業は特になし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 安全で快適な住環境を保つための必要回数で委託しているので削減するのは難しい。また、限られた予算内で市民が安全で快適な住環境を保つためには、職員自ら除草、剪定、伐採等を行う場合があり、人員削減の余地がない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 多くの桜川市民が利用する公園の管理事業であり、公正公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 子供の利用も多く、時折公園遊具等での事故がニュースで流れる。重大な事故にあっては、誤った遊具の使用の場合でさえも管理者の責任が問われる時代であることを認識し、日常から遊具の安全管理には十分注意を払わなければならない。 各公園の樹木が大きくなってきているため、安全管理上、見通しがいいように樹木の剪定及び伐採を行った。
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 □ 改革改善を行う □ 効率的の改善 □ 廃止 □ 休止 ■ 現状維持 □ 公平性の改善 (複数回答可) □ 統廃合ができる □ 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 公園内の樹木の巨大化および老朽化に伴い、剪定及び伐採が必要となってきているが、財政上なかなか予算が取れない状況である。職員でできるものはなるべく職員が行えるようにするが、そうでないものについては、優先順位をつけて予算どりをを行い実施する。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 □ A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 □ B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 □
--	--